

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公表番号】特表2009-527291(P2009-527291A)

【公表日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-030

【出願番号】特願2008-555590(P2008-555590)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/01 (2006.01)

A 6 1 M 25/02 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/00 4 5 0

A 6 1 M 25/02 B

A 6 1 L 31/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月22日(2010.2.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

バルーンカテーテルのガイドワイヤを横断させることのできる閉塞部を有する哺乳類の脈管を治療するための装置において、

遠位端及び近位端と、ガイドワイヤを挿通させて受け入れるためのルーメンと、を有する中空のスリーブを備えており、

前記遠位端は、前記ガイドワイヤが横断している前記閉塞部の周囲の部分を切り取ることができる形状に作られている先端端となっている、装置。

【請求項 2】

前記先端端は、更に、前記遠位端が前記閉塞部を貫いて前進される際に、前記ガイドワイヤが横断している前記閉塞部の周囲の部分を広げることができる形状に作られている、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記先端端から外向きに傾斜している表面を更に備えている、請求項 1 又は 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記スリーブの前記ルーメンは、前記ルーメンの最大直径が 0.03 インチである、上記請求項の何れかに記載の装置。

【請求項 5】

前記ルーメンの前記表面と前記スリーブの外側表面の間の半径方向距離は、0.004 インチから 0.007 インチの間にある、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記スリーブは可撓性を有する金属製である、上記請求項の何れかに記載の装置。

【請求項 7】

前記金属は超弾性を有している、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記金属は、約 35℃から 45℃の間、又は 36℃から 44℃の間、又は 36℃から 43℃の間、又は 37℃から 42℃の間にある A_f 温度を有している、請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】

前記金属は、ニッケルチタン（ニチノール）合金、ステンレス鋼、コバルト、クロムニッケル及びモリブデンの合金（Elgiloy）、チタンの合金、ニッケルチタン銅の合金、及びそれらの組み合わせから成る群より選択される、請求項 6 又は 7 に記載の装置。

【請求項 10】

前記金属はニチノールである、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 11】

前記スリーブの長さは、最大約 20 cm である、上記請求項の何れかに記載の装置。

【請求項 12】

前記装置をモノレール送達システムと共に使用できるようにするために、前記スリーブの近位端で接続された押し出しワイヤを更に備えている、請求項 11 に記載の装置。

【請求項 13】

前記ルーメンの金属表面は、前記ガイドワイヤと前記ルーメンの前記表面との間の摩擦を低減するためのコーティングを有している、請求項 6、7、8、9、又は 10 の何れかに記載の装置。

【請求項 14】

前記コーティングは、パリレン C である、請求項 13 に記載の装置。

【請求項 15】

内部に閉塞部を有する哺乳類の脈管に挿通されたガイドワイヤ上に装着するためのスリーブにおいて、

前記ワイヤを挿通させるために前記スリーブの遠位端に設けられた中空の先端を備えており、

前記遠位端の先端は、前記ワイヤが挿通されている前記閉塞部の周囲部分を切り取って、前記閉塞部の中にバルーン及び／又はステントを留置するための隙間を提供することができる形状に作られている、スリーブ。

【請求項 16】

前記先端から長手方向に伸張している外側表面であって、近位端に向けて半径方向外向きに切り落とされ、これにより、使用時に、前記閉塞部を貫いて前記スリーブを前進させると、前記スリーブは、それと当接している前記閉塞部の表面に半径方向外向きに力を加えるように作用するような形状に作られている、外側表面を更に備えている、請求項 15 に記載のスリーブ。

【請求項 17】

前記中空先端の少なくとも内部遠位端にはポリマーがコーティングされており、前記ポリマーは、望ましくは有機ポリマーであり、随意的には、前記ポリマーは、前記スリーブの前記遠位端を包んでおり、運動摩擦係数値が 0.29 以上である $-\text{CH}_2(\text{C}_6\text{H}_3\text{Cl})\text{CH}_2-$ の繰り返し単位を有しており、静止摩擦係数は少なくとも同じ値を有している、請求項 15 又は 16 に記載のスリーブ。

【請求項 18】

バルーンカテーテルのガイドワイヤを横断させることのできる閉塞部を有する哺乳類の脈管を治療するための装置において、

遠位端及び近位端と、ガイドワイヤを挿通させて受け入れるためのルーメンと、を有する中空のスリーブを備えており、

前記遠位端は、前記閉塞部を貫いて前進させる際に、前記ガイドワイヤが横断している前記閉塞部の周囲の部分を広げることができる形状に作られている先端となっている、装置。